

V.G 概論だより

会報第15号
発行日 平成17年12月31日
発行・編集 V・G 概論
代表者 大岡成一
http://web3.ibj.co.jp/kirin

VG概論設立一周年記念 講演会 盛会裡に開催される

月 日：平成17年12月15日(木)
場所：高槻市役所総合センター602会議室

講師：(社)中高年齢者雇用福祉協会 PREP 経営研究所
主任講師・日下 總一氏

1 はじめに
人生の目的：
安心して働き(経済的活動と余暇活動)、安定した生活を続ける。

2 人生の三大不安
「三大不安」
貧困・孤独・病気
現在の日本人の寿命は、男：83〜84歳 女：87〜88歳

3 孤独を解消する
「生きがい」の重要性
孤独の反対は労働である。労働は職業生活(金儲け)と余暇活動(消費)。

4 「生きがい」と「生きるまじみ」について
「生きがい」・「生きている価値」・「生きている幸福」
「生きるまじみ」の二つの意味・対象目的としての生きがいと、生きている幸福感とのように生きてきたかを物語る言葉。

5 余暇生活と趣味の開発
「生きがい」がある。
「生きるまじみ」の中に「生きがい」がある。
趣味・交友関係 好奇心をもっている。
日下氏自身の話
退職時：テレホンカードをつくり次の文言を入れる。

人生百歳・・・一日一感動・一日一哄笑(腹の底から笑う)
6 地域社会生活とボランティア

軟着陸するために
企業の肩書きをはずす。
社会人としてのマナーをわきまえる。
日常生活の中で自立する。
あらゆることに好奇心をもつ。

自由時間が有り余るほどある。「この時間を労働につかえる」
(1) 趣味をつくる。
お金消費型から時間消費型へ。

白程表が先の先まで出ていてところどころ空白がよい。
ある役割を果たすことが期待される。
代役を務める。生きがいを感ずる。
向か気楽にやって社会に感謝される。

7 対話が基本の夫婦関係
子供が独立し夫婦二人になり、夫婦家族性となる。
対話(コミュニケーションが原点)

1 情報交換
2 問題解決
3 精神安定の役割：病気の問題 友人の死亡など
お互いのカウンセラー役をする。

心のケア、癒しの役をする。
4 伴理性：友人、目線を等しくする。(50:50)
反面 夫は妻に干渉しない。
夫は自立する。(掃除洗濯 炊事をする)

今はナカ食の時代、チンすれば食事できる。
「熟年離婚」定義は20年以上つれそった夫婦の離婚
男から女へが、女から男へ三行半を告げられる時代
昭和50年代：5%
平成15年：15%ある。

あぶない言葉：い・文・落葉 2 産業廃棄物
3 粗大ゴミ4ワシ族
5 ハシパン
8 おわりに
「生涯福祉(幸福)」
生涯福祉の為に、生涯学習(教育)と生涯労働



味WAY

きんぴら(しょう)

三人前

- しょう 100g
- 豚ばら肉 100g
- こんにゃく 一丁
- 砂糖 醤油 各大匙一
- みりん 酒 各小匙一
- だし汁 大匙三
- 中国産乾燥コマ 少々
- 鷹のつめ 一本

- 1 しょうはきんぴらがく。
- 2 ごま油を引いて豚肉ごぼろ こんにゃくの順に入れてよくいためる。
- 3 だし汁と調味料を入れて煮汁がなくなるまでよく炒め煮する。

ごぼろが透きとつれば強火にして煮汁を絡ませ、最後に山椒・鷹のつめを入れる。

お皿に盛ってコマを沢山かけます。 M・K

1月度行事予定

寒天作りの里を訪ねる

月 日：平成18年1月19日(木)
場所：(株)タニチ 田能工場 12:30集合
交通案内：市営バスJR高槻駅 ②のりば 杉生行き 11;37発 樫田校前下車 徒歩約7分

2月度行事予定

工場で野菜栽培：水気耕栽培(ハイポニカ)

月 日：平成18年2月16日(木)
場所：協和・ハイポニカ研修センター前13:15集合
交通案内：市バスJR高槻駅 のりば 関大行き12:50発 清福寺下車 バスの進行方向へ約5分左手に温室がある。